

とも 図書館だより

めぐ のしょうがっこう 恵み野小学校としょかん

2023年7月6日 No.2

もうすぐ夏休みがやってきますね！みなさんはどんなけいかくをたてていますか？

学校としょかんには、夏休みによんでたのしい本や、じゅうけんきゅうのやくにたつ本がいろいろそろっています。夏休みまえのかしだしに合わせて、あたらしい本もはいつてきました。

ぜひたくさんかりて、すずしいところで本をひらいてみてください。

◆夏休みまえのとしょかしだし◆

 **かしだし日** 学年ごとに、本をかりる日がきまっています

7月10日(月)・・・5、6年生

11日(火)・・・3、4年生

12日(水)・・・1、2年生

 **かしだしさつう** ひとり10さつまで

 **かえす日** 8月18日(金)～23日(水)

本をいれるバッグ
がひつようです！



今かりている本は7月7日(金)にかならずかえしてください

◆「ぞうしよてんけん」のためへいかん◆

7月18日(火)～20日(木)は、「ぞうしよてんけん」をします。

としよボランティア「めぐみのアリス」のみなさんにもおてつだいしてもらって、学校としょかんの本がきまったばしょにきちんとそろっているかをたしかめる、年にいちどのたいせつなさぎょうです。

そのため、ぞうしよてんけん中は、としょかんにははいれません。

なつやすみによんでみよう！

ほん



☆あたらしい本☆

☆☆☆あたらしい本は、ひとり1さつかりられます☆☆☆

「キリン解剖記 ジュニア版」作：郡司寿久 / ナツメ社

「キリンが亡くなりました」と知らせがあれば、クリスマスもお正月も予定をキャンセル。これまでに30頭のキリンを解剖し、「8番目の“首の骨”」を見つけた研究者の、キリンへの愛、探求、発見の白々。

「カムイの大地 北海道と松浦武四郎」作：泉田もと / 岩崎書店

北の大地を歩き続ける男は、旅の途中で訪れたアイヌの村の温かいもてなしに感謝と友情で応えた。言葉をはじめあらゆるものを記録に残す。広く世に伝えるために。北海道の名づけ親・松浦武四郎の物語。

「ずかん武具」/技術評論社

「からだのなかのびっくり事典」/ポプラ社

「距離型キッズおり紙ヒコーキ 遠くまで飛ぶ20機」戸田拓夫/いかだ社

「星のカービィ スターライト・シアターへようこそ！」/ポプラ社

「あやし、おそろし、天獄園 銭天堂番外編」廣嶋玲子/偕成社

ほかにもあたらしい本がたくさん
はいました！うらを見てね

